中企団幹事社会保険労務士も多数登壇

社労士サミット2025 開催決定!

2025年3月11日「社労士サミット」開催！
社労士のDXに役立つエムケイシステムの「社労士サミット」が今年も開催。
過去の開催より、さらに進化を遂げたプログラムで、業界の課題解決に役立つ最新情報をお届けします。幹事社労士もスピーカーとして多数登壇し、日々の業務に役立つ実践的な知見を共有します。

「社労士サミット2024」のハイライトをお届け！
本誌面では、昨年3月に開催され、社労士事務所や顧問先の労務管理のDX事例が多数紹介され、参加者にとって大きな学びの場となった「社労士サミット2024」のハイライトをご紹介します。
記事をご覧いただき、ぜひ本年開催の「社労士サミット2025」への参加をご検討ください！

「社労士サミット2025」の開催概要は別途折込チラシをご参照ください。

特別講演

労務BPRと生成AI活用によるHR DX

現代の人事管理は、労働力不足と業務改革の必要性に直面しています。人事部門では、システム過多とHRテクノロジーの急速な進化により、選択の難しさが増しています。このような課題に対処するために、HR DXが注目され、同時に、未来に向けたデジタルトランスフォーメーション（DX）が必要とされています。さらに、業務プロセスの再設計（BPR）を通じて、業務の効率化と生産性の向上が目指されています。これらには、人事データの効果的な管理が欠かせません。組織の競争力強化にも寄与すると期待されています。

人事コンサル・事業会社目線から考える社労士の在り方

労務特化のHR DXを進めることで、働き方改革や経営戦略に貢献できます。そのような時代での社会保険労務士の在り方としては、まずは「法」に基づくものであることが大前提となり、業務効率化や業務改革を進める中でも「人」にフォーカスすることを重視し、社会保険労務士として公正な立場で業務を遂行するべきだと考えます。

合同会社人事BPR
代表社員CEO
嶋田 貴文 様

事業会社人事労務・労務系アウトソーシング・人事労務コンサルタントと人事労務領域にて20年間携わる。現在はスタートアップやベンチャー企業を中心に人事労務に特化したBPRを行い、実績は数十社を超える。
会社のpurpose（存在意義）は「日本の人事基盤となり、世界へ通ずる日本企業を創る」

東京都

el'm社会保険労務士法人

髙宮 隆朗 様

社労士事務所DXと顧問先企業DX、その最新事例

全ては選ぶシステム次第

最先端の知識、技術、情報を顧問先に提供
導入ペンディング時も要因分析を行い、常に最新のシステム情報を取り入れ顧問先に紹介します。スマートに入れ替え可能と思っていただくことが重要です。

労務管理システムは一長一短で完璧はない
システムの不足は運用で補い、社労士事務所が法律に則ったコンサルをすることでDXに導きます。

東京都

社会保険労務士法人
総合経営サービス肥後労務管理事務所

白井 章稔 様

DXが切り開く新時代の社労士事務所

eNEN導入による生産性アップの実際

『eNEN』の導入実績と事務所の生産性向上について
年末調整データ収集システム『eNEN』は4年間で9割の導入率。配布用チラシや動画・QAサイトの作成、マニュアル共有などを工夫しました。

Kintoneの日報で作業を可視化
効率化で産み出した利益は職員に還元して待遇改善や人材定着に繋げることが新時代の社労士事務所のあるべき姿と考えます。

東京都

社会保険労務士法人出口事務所

出口 裕美 様

出口事務所のDXと顧問先企業のDX そして“地方創生とBCP（事業継続計画）対策”へ

コロナ禍とシステム障害時を乗り越えられたBCP対策とは

各拠点の全職員が自ら考え協力して乗り越える組織に成長

システム障害時は、以前使っていたWord・Excelの連絡票やExcelの関数機能を用いて乗り切りました。常日頃から対策をまとめておくことが重要です。

社労士事務所のBCP対策の考え方

職員達が安心して働けるよう経営面や事務所としての取り組み、SRPⅡについてなど、自社に合ったBCP対策を進めていきましょう。

熊本県

穴井りゅうじ社会保険労務士事務所

穴井 隆二 様

社労夢システムへの情報一元化で高効率を追求！

ネットde賃金が顧客へのサービスアップを可能に

いかに楽にやりとりするかを追求

残業ゼロ・有給100％取得。開業当初から『社労夢』を利用し情報を一元化、見える化を実現しました。

他社比較するも やはり魅力的な社労夢

スマホ打刻やネットde明細がクライアントから好評です。社労夢給与計算の計算式の自由度の高さも評価点です。

愛知県

かとう事務所

加藤 麻紀 様

小さな事務所だからこそ、DX!

残業時間が多いのが悩みだった

事業継承後、数年間は日々の業務が増加し、長時間の残業が常態化していました。そこで、DXを前提に業務の進め方を全面的に見直しました。業務内容を積極的なものと消極的なものに切り分けすることにしました。

時間と気持ちに余裕が 生まれる

社労夢やRPA、ストレージなどを活用しDXを推進、10年経って、令和5年は職員の早上がり時間が残業時間を上回るまでに効率化できました。

大阪府

エムザス社会保険労務士法人

前野 睦 様

給与DXは人事DXに、そして本業DXへとつながる一丁目一番地

DXは効果が多い給与・社保から始めませんか

「給与DX」が「人事DX」に

創業当初から『社労夢』を利用しBPOと給与社保・DXで展開。デジタル化前提の業務プロセス、運用定着を提案しています。

システム化されていない 現場業務をDX

顧問先の社内業務をデジタル最適化で時間を削減、残業務をアウトソースで課題解決します。

山口県

社会保険労務士 FUTAGO事務所

八木 雄大 様

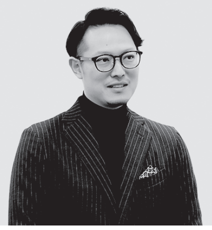
社労士事務所DXの第一歩「社労夢ハウス」

開業2年目、 30代“双子”の社労士・行政書士合同事務所

『ネットde顧問』を極めれば事務所も顧問先も両方DX推進可能であることなどDX推進のためハウスプランに変更しました。

様々なDXツールを使いまくる

地方企業は、慎重ですがDXを進める気持ちは必ず持っています。まずは『ネットde顧問』を極めていこうと思います。



社労士サミット2025 の詳細は下記 URL からご覧いただけます。

https://www.mks.jp/shalom/lp/summit2025/